

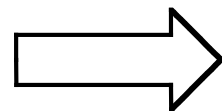
有機分子の電池活物質への活用



コバルト酸リチウム

二次電池の
2010年の
市場規模予測：
2.1 兆円

元素危機
資源争奪戦



π 電子系有機分子
で代用できないか？
より高性能な二次
電池は可能か？

予想される長所

- 希少高価な原材料を使用しない
- 多様な材料の設計が可能
- 自由な形成が可能
- 環境負荷が低い
- おそらく安全性も高い

短所

- 電池活物質としての機能があるのか？
- 分子構造と出力電圧や充放電機構との関連が不明
- 体積あたりの放電容量が小さい